

ソウルで考える

- 東アジア版ダボス会議に参加して -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

栃木県内でも新型インフルエンザによってお休みになる学校が少しずつですが出てきました。そこで、ぜひお願いしたいのは、元気な方は学校がお休みになっても外出を控えて、学校の時間割に沿った科目の勉強をしていただきたいということです。家でぶらぶらして、テレビを見たりゲームやメールをしたりしていたのでは何にもなりません。学校での1日の過ごし方と同じように、時間になったらその科目の勉強をして下さい。

どのように勉強すればよいかというと、教科書を開いて今までに学習したところを復習するのが一番です。声を出して読む音読練習や書き取り練習、一度やった問題をもう一度解き直す計算・問題練習などをして、時間を有効に使って下さいね。

休み時間も時間割通りにきちんと取り、昼休みには昼食をしっかり摂りましょう。

もちろん、インフルエンザに罹ってしまった方や体調の悪い方は、ゆっくり休んで回復に努めて下さい。

2. (1)ところで、私は6月18日と19日に韓国のソウルに行ってきました。今日は、そのお話をさせていただきます。

ソウルに行った目的は、18日の木曜日と19日の金曜日にグランドハイアットというホテルで開かれた会議に参加するためです。

1月末にスイスのダボスで「World Economic Forum(ワールド・エコノミック・フォーラム)」という会議が開かれます。日本では、「世界経済会議」と言われているものです。今回、私が参加したのは、その会議を運営している方々が主催した「東アジア経済会議(ダボス会議の東アジア版)」です。参加者はおおよそ300名ぐらいで、日本からは20名程でした。

この会議はアジア各国の持ち回りで行われ、東京やソウル、シンガポール、マレーシア、香港などで年に1回開催されます。経済成長をどのように果たしたらよいかを議論する会議です。私は、2001年以来毎年参加させていただき、今回で9回目となりました。

(2) 今年の会議の特色はいくつかあります。以前は日本やアメリカ、ヨーロッパの国々からの参加者が非常に多かったのですが、近年はだんだん少なくなってしまいました。一方で、中国、インド、ロシア、中東やアフリカの国々からの参加者が増えています。これが大きな特色の1つめです。世界的な経済危機が日本やアメリカ、ヨーロッパの国々を激しく襲ったため、会議にすら出てこられないという状況の方が多いようです。その影響をあまり受けなかった中国、インド、ロシア、中東やアフリカなどの新興諸国からの参加者が多かったということは、もしかしたらこれからの経済はそれらの国々が支えるということなのかもしれません。南アメリカの国々からの参加者はほとんど見ませんでした。

(3) 2つめの特色は、2日間にわたって朝早くから夜遅くまでさまざまなテーマの会議が開かれましたが、どの会議のセッションでも女性の発言が際立ったことです。女性からの非常に立派な発言が今年は特に多かったように思います。女性が力をつけてさまざまな場面で発言する、それを実感する会議でした。

(4) 3つめは、韓国の方とベトナムの方の英語がとても上手になったことです。その理由は次のように考えられます。ヨーロッパの国々は経済統合をしていて、その共通語は英語です。英語が話せなければ、そしてコンピュータが使えなければ、ヨーロッパの経済統合はなかなか進みません。そこで、ヨーロッパでは今、英語とコンピュータの習得に非常に力を入れています。ですから、ヨーロッパの方々は英語がとても上手です。

同時に、現代はグローバル化社会で行き来が盛んですから、アジアの国々でも英語教育に力を入れています。最近では特にベトナムと韓国が力をつけ、両国の方々の英語が際立って上手になりました。驚くほどです。10年ぐらい前の会議では、ベトナムの方々の英語はたどたどしくて私とあまり大差なかったのですが、今回の会議にいらした方々はびっくりするほど上手でした。

以上の3つが、今回の会議の特色でした。

3. おわりに

ところで、次週も少しお話しますが、私が今回の会議でおもしろく感じたことは以下のようなことです。

今までは頭脳流出、つまり小学校・中学校・高等学校の勉強を自国で済ませた優秀な方々が大学や企業は外国に行ってしまうということが非常に多くありました。しかし、今は、外国で勉強した方々が自国にどんどん戻っています。これを Brain gain(ブレイン・ゲイン 流出した頭脳をもう一度獲得する)と言いますが、これがとても目につきました。

これについては、来週のこの時間に詳しくお話いたしますので、ぜひお聴き下さい。